

本 会 記 事

日本植物病理学会平成30年度第1回評議員会議事録

日 時：平成30年11月17日（土）14:30~17:00

場 所：日本植物防疫協会ビル会議室（〒114-0015 東京都北区中里 2-28-10）

出席者：

秋光和也，青木孝之，有江 力，古屋成人，濱本 宏，曳地康史，平塚和之，一瀬勇規，岩井 久，景山幸二，兼松聡子，川北一人，北 宜裕，小林括平，児玉基一朗，近藤則夫，桑田 茂，眞岡哲夫，三瀬和之，三富正明，守川俊幸，中島 隆，中屋敷均，夏秋知英，大島一里，佐野輝男，佐藤豊三，澤田宏之，白石俊昌，鈴木信弘，高垣真喜一，高橋英樹，高松 進，高野義孝，竹下 稔，富田恭範，津田新哉，月星隆雄，渡邊 健，渡辺京子，吉田重信，吉川信幸，金山晋治，夏秋啓子，瀧川雄一，宇垣正志，久保康之会長，柘植尚志副会長，鈴木文彦庶務幹事長

以上評議員48名（定員53名，欠席者5名：根岸寛光，高松 進，古屋廣光，増田 税，土佐幸雄）

幹事・事務局出席者：大島研郎庶務副幹事長，染谷信孝庶務幹事，西川尚志会計幹事，久保田健嗣庶務幹事，石賀康博副会計幹事，渡辺玲子事務局員，水藤早紀事務局員

開会の挨拶（久保会長）

I. 審議事項（議事進行：久保会長）

1. 平成31年度功績者の推薦（桑田功績者推薦委員長）

・委員会より名誉会員に内藤繁男氏が，永年会員に門脇義行氏，稲垣公治氏，小川奎氏，松本勲氏，小金澤碩城氏の5名が推薦され，承認された。

2. 平成31年度論文賞の選定（秋光編集委員長）

・委員会より論文賞受賞候補論文が選定されたことが報告され，承認された。一次候補5編から二次投票を行い，2編が選定されたことが説明された（筆頭著者ABC順）。

・Pamela Gan, Nanako Nakata, Takeshi Suzuki, Ken Shirasu. Markers to differentiate species of anthracnose fungi identify *Colletotrichum fructicola* as the predominant virulent species in strawberry plants in Chiba Prefecture of Japan. *Journal of General Plant Pathology* 83(1): 14–22 (2017)

・Ryo Yamamoto, Akio Nakagawa, Shinji Shimada, Setsuko Komatsu, Seiji Kanematsu. Histopathology of red crown rot

of soybean. *Journal of General Plant Pathology* 83(1): 23–32 (2017)

3. 平成31年度学会賞，学術奨励賞の選定（久保賞選考委員長）

・久保選考委員長より，平成31年度学会賞・学術奨励賞の二次選定結果について開票結果が報告され，学会賞に3名，学術奨励賞に3名が選定されたことが報告され，承認された。選定結果は以下の通り。

・学会賞

児玉基一朗「*Alternaria* 属菌の病原性進化に関する研究」
中島隆「ムギ類赤かび病によるカビ毒汚染低減に関する研究」

月星隆雄「日本における試料作物に生息する病原糸状菌の分類・同定に関する研究」

・学術奨励賞

晝間敬「寄生型および共生型 *Colletotrichum* 属菌と植物の相互作用研究」

金子洋平「ナシ萎縮病菌の同定と発生生態に関する研究」

富高保弘「トマト黄化えそウイルスとアザミウマの相互作用に関する研究」

4. 平成31年度日本農学賞推薦者の選定（久保賞選考委員長）

・今年度の植物病理学会からの推薦は見送ったことが報告された。

5. 2020年度大会開催地（岩井評議員）

・鹿兒島大会として2020年3月19~21日にかごしま県民交流センターおよび城山観光ホテルでの開催を予定していること，研究会開催用として3月22日に100~200名の会議室4部屋を仮予約していることが報告された。

6. 平成31年度教育プログラム開催地（一瀬評議員）

・次年度は岡山大学農学部を会場として2019年9月9~13日にかけて開催予定であることが報告され，承認された。9/9はプレ教育プログラムとして初心者の希望者を対象とした講義を予定していることが報告された。プログラムの講義と診断の講師は近県の学会関係者で対応する予定。

7. 和文誌投稿規定の改定（投稿料の値下げ）（秋光編集委員長，西川会計幹事）

・投稿者の金銭的負担軽減と投稿促進のため，カラー印刷および超過頁の費用を変更し，投稿規程を改正することが報告され，承認された（超過頁0.5頁あたり18,000円→7,500円。カラー印刷頁は実費→10,000円/頁）。合わ

せて、核酸塩基配列の登録データベース名の修正、印刷費に関する項目の修正について報告、承認された。

8. レフェリーへの感謝状について（秋光編集委員長，西川会計幹事）
 - ・レビュー作業の迅速化および負担に報いるため、感謝状を授与すること、授与対象者の具体的基準は規定等に定めるのではなく、編集委員会と幹事会で選定することが提案され、承認された。
9. 法人化の準備状況と組織・運営案（法人化検討委員会，久保将来問題検討委員長）
 - ・久保会長より、将来問題検討委員会から法人化検討委員会に対して法人化にかかる答申が提出されたことが報告された。
 - ・「日本植物病理学会法人化後の組織および運営について（案）」について説明され、法人名義で銀行口座等各種契約ができるようになること等、組織の社会的信用を高める基盤形成が重要であること、一方で法人化により実質的な活動に支障がでないことも大事であることが述べられた。
 - ・久保会長より、「一般社団法人日本植物病理学会定款（案）」の説明がなされた。
 - ・久保会長より、以下のスケジュールを想定していることが報告された。

2019（平成31）年3月：つくば大会での総会において承認

2019（平成31）年11月：法人登記手続（定款が必要）

2020（平成32）年1月：一般社団法人設立

2020（平成32）年3月：任意団体解散決議・法人への移行決議・新理事の承認

- ・他学会における一般社団法人化の課題に関する質問があり、一例として植物病理学会と日本植物防疫協会との調整が必要になることが述べられた。
- ・法人化後の評議員会の位置づけに関する質問があり、基本的には現在の役割が維持される旨回答された。
- ・評議員の人数に関する質問があり、選挙では45名以内が選出され、会長指名を加えた総数は60名以内となることが回答された。
- ・地域部会・研究会の運営および予算の一元化に関する質問があり、予算は本部で一元管理されること、運営等については各部会の決定を尊重するが今後調整が必要な旨回答された。
- ・法人化後の組織・運営および定款の会員への伝達方法について、会員宛メール、学会ホームページへの掲載の両者で行うこと、また、会員からの意見聴取のためのパブ

リックコメントを収集することが承認された。

II. 報告事項

1. 平成31年度副会長選挙結果の報告（有江選挙管理委員長）
 - ・11月9日に選挙管理委員会立ち会いの下に開票され、平成31年度副会長に有江力氏が選出されたことが報告された。
 - ・平成31年度副会長に選出された有江評議員から挨拶があった。
2. 日本農学進歩賞の受賞者（鈴木庶務幹事長）
 - ・本学会が推薦した松下陽介氏の受賞が決定したことが報告された。
 - ・授賞式、受賞講演及び祝賀会が11月30日に東京大学農学部弥生講堂で予定されていること、本人は所用のため出席できないので代理出席の予定であることが報告された。
3. 平成30年度大会・部会・研究会・談話会報告（鈴木庶務幹事長）
 - ・予定されていた各会はすべて無事終了したことが報告された。
4. 平成31年度大会案内（中島大会委員長）
 - ・大会委員長の農研機構中島評議員から平成31年3月18～20日につくば国際会議場で開催予定であること、平成30年12月7日から大会参加登録が開始されること、発表申し込みが平成31年1月8日、参加切が2月8日になることが報告された。
 - ・つくば市からの大会運営費補助のため、参加者のつくば市内への宿泊が要請された。
 - ・つくば大会用に優秀発表者選考実施要領を策定したことが報告された。
5. ACPP 2020 開催準備状況（津田組織委員長）
 - ・組織委員長の法政大津田評議員から2020年9月15～18日につくば国際会議場で開催予定であること、9月14日は同じ会場で日韓合同シンポジウムが開催予定であること、プログラム構成案が報告された。
 - ・ACPP 2020のホームページが開設されたことが報告された。
 - ・組織委員会の委員が報告された。
 - ・Concurrent Sessionについて研究会・談話会から選出された各セッションの担当委員およびタイトル案が示された。
 - ・農水省消安局植物防疫課、FAO、JTB茨城南支店との打ち合わせ状況が報告された。
 - ・ACPP 2020と各地域部会の開催日程が重ならないよう調整が要望された。
 - ・留学生等を通じた周知活動、海外での学会発表の際にスライド発表等の最後での周知等が要請された。
6. ICPP 2018 参加報告（久保会長）

- ・久保会長, 津田評議員, 有江評議員, 平塚評議員等が参加したこと, 報告を学会ニュースに掲載したこと, ICPP 2023 はフランスのリヨンで開催されることが報告された.
 - ・ACPP 2020 の周知活動を行ったこと, ICPP 次期会長の Jan Leach 氏に ACPP 2020 で講演していただけることが報告された.
7. G20 首席農業研究者会議 (G20 MACS) および専門家会合 (中島評議員)
- ・2019 年 4 月に東京で開催される G20 MACS にむけ, 「植物病虫害の世界的拡散と対応策の研究」に関する検討会が設置されること, 議事録が農水省 HP で公開されていることが報告された.
 - ・MACS のサテライトミーティングや国際シンポジウムが開催される予定であり, 協力依頼への対応が要望された.
8. 編集委員会報告 (秋光編集委員長)
- ・2018 年 1~10 月受付分の投稿原稿数として, 英文誌 270 本 (受理率 20.08%), 和文誌 11 本 (同 88.89%) であることが報告された
9. 編集委員会・幹事会合同会議報告 (西川会計幹事)
- ・平成 30 年 9 月 8 日に開催された編集委員会・幹事会合同打ち合わせの概要が報告された.
 - ・JGPP の投稿規程の日本語版作製に関して, クリムゾンインタラクティブジャパンに発注し納品されたこと, 現在チェック中であり, 後日会員専用 HP に掲載し周知することが報告された.
10. 科研費の中間評価報告 (西川会計幹事)
- ・平成 28 年度に採択された科研費研究成果公開促進費の中間評価報告書を提出したこと, その内容 (取組の概要, 目標達成状況, 今後の計画) が報告された.
11. 日本農学会報告 (鈴木庶務幹事長)
- ・平成 30 年 9 月 3 日に開催された第 2 回日本農学会運営委員会について報告された.
12. 日本植物保護科学連合報告 (鈴木庶務幹事長)
- ・公開シンポジウム「植物保護科学の SDGs への貢献」が 12 月 1 日に東大で開催されること, 病理学会から中保一浩氏により「トマトの難防除病害の持続的管理技術について」(座長鈴木文彦氏) と題して講演されることが報告された.
13. 専門委員会名称記載の訂正 (染谷庶務幹事)
- ・病理学会の専門委員会の一つ「男女共同参画学協会連絡会」は誤記載であったため, 「男女共同参画推進委員会」に訂正されたことが報告された.
14. 日本植物病名目録 (2018 年版) の発行 (染谷庶務幹事)
- ・日本植物病名目録 (2018 年版) が発行されたこと, 新旧対照表 (2018 年前期, 黒穂病) が会員専用ページに掲載されたことが報告された.
15. 講談社ブルーバックス刊行準備状況について (中屋敷評議員)
- ・仮題「植物たちの「戦争」 ~病原体との 10 億年サバイバルレース~」として, 2019 年 3 月 12 日に講談社ブルーバックスより刊行されることが報告された.
 - ・学生の副読本として推奨する旨述べられた.
16. 日本植物病理学会 / オーストララシア植物病理学会間の協定に基づく学生会員交換事業 (夏秋国際化対応委員長)
- ・本事業により名古屋大学の学生が 10 月 11 日~10 月 23 日の日程でオーストラリアに派遣中であること, 1500 オーストラリアドルの支援がなされたことが報告された.
 - ・来年度はオーストラリアから学生を受け入れることが報告された.
17. 男女共同参画学協会連絡会の活動報告 (夏秋男女共同参画推進委員長)
- ・病理学会はオブザーバーとして参加しており, 会員が参加できるイベント等があれば (今年度前半はなし) ホームページで周知する予定であることが報告された.
18. 技術士対応委員会・五学会技術士育成推進委員会報告 (濱本技術士対応委員)
- ・今年度は 9 名 (うち病理学会員 6 名) が合格したことが報告された.
 - ・技術士対策セミナーを平成 31 年度病理学会大会のランチョンセミナーとして開催を予定していることが報告された.
19. 名誉会員 野中福次先生および岸國平先生の逝去 (鈴木庶務幹事長)
- ・野中先生の追悼文は佐古先生と大島先生に, 岸先生の追悼文は日比先生に依頼することが報告された.
- III. その他
- ・鈴木庶務幹事長より, 専門委員会の委員長等の交代は確実に (総会資料の印刷に間に合うように) 幹事会に伝達することが要請された.
- 以上
- 平成 30 年度第 2 回日本農学会運営委員会議事録
 日 時 : 平成 30 年 9 月 3 日 (月) 15 時より
 場 所 : 東京大学農学部 7 号館 A 棟 104.105 講義室
 出席者 : 西澤直子会長, 大杉立副会長, 渡部終五副会長, 大山卓

爾監事，與語靖洋監事，坂田好輝（園芸），矢部和弘（シス農），龍原哲（森計），高橋輝昌（森立/芝草），有村慎一（育種），伏信進矢（応糖科），野村昌史（応動昆），太田能之（家禽），青木直大（作物），勝間進（蚕糸），春原由香里（雑草），中川貴之（獣医），鈴木文彦（植病），小島克己（森林（代）），黒木真理（水産（代）），安永門理子（生環），石川尚人（草地），山内啓太郎（畜産），大塚重人（土肥），染谷信孝（土微），小原廣幸（熱農），酒井英光（気象），澤田 守（経営），北原克宣（農経），野尻秀昭（農化），森山裕充（農薬（代）），杉浦幸二（繁殖），齋藤継之（木材），河原 大（木加工（代）/木質（代）），小口広太（有機（代）），海津 裕（農食工），荒木徹也（農施），中村典裕（農情），黒住圭子（事務担当）

欠席者：

杉原たまえ（実農），松下範久（樹木医），中村英光（植調），矢沢勇樹（海水），木村健一郎（国地開），松村一善（砂丘），塩出大輔（水工），大黒俊哉（造園），野村こう（動遺育），野口良造（農作），渋谷往男（フード），大倉利明（ペドロ），青木謙治（木加工），吉田修一郎（農村工），橋本 禅（農計），落合 陽（木質），柴崎茂光（林経）

議長：西澤会長

進行：齋藤庶務担当常任委員

議事：

○【学術著作権協会】権利委託手続きの変更および転載許諾事業開始について

学術著作権協会事務局長 石島 寿道氏

1. 平成30年度第1回日本農学会運営委員会議事録（案）の承認について
2. 平成30年度（第89回）日本農学大会の報告
3. 平成30年度日本農学会シンポジウムの準備状況について
4. 平成31年度日本農学賞受賞候補者の推薦および（一社）日本農学会総会について
5. 平成31年シンポジウムテーマについて
6. 平成31年度常任委員担当学会について
7. その他

新規入会申込について

シンポジウム講演要旨 Web 公開について

配布資料

1. 平成30年度第1回運営委員会議事録（案）
2. 平成30年度（第89回）日本農学大会の報告
3. 平成30年度日本農学会シンポジウム開催案内・プログラム
4. 平成30年日本農学会シンポジウムポスター配布内訳

5. 平成31年度日本農学賞受賞候補者の推薦依頼・推薦書
 6. 日本農学会総会案内
 7. 加盟学協会調査票
 8. 平成31年シンポジウム開催日時：テーマ
 9. 常任委員割り当て表
 10. 新規入会申込書
 11. シンポジウム講演要旨 Web 掲載見本
 12. 平成30年度日本農学会役員一覧
 13. 日本農学会シンポジウムポスター
- 議事：

西澤会長の挨拶後，学術著作権協会事務局長 石島 寿道氏より権利委託手続きの変更および転載許諾事業開始について説明があった。

議事1. 平成30年度第1回日本農学会運営委員会議事録（案）の承認について

齋藤庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり了承された。

議事2. 平成30年度（第89回）日本農学大会の報告

齋藤庶務担当常任委員より資料に基づき報告があった。

議事3. 平成30年度日本農学会シンポジウムの準備状況について

北原担当常任委員より資料にシンポジウム準備状況の報告があった。運営委員の先生方に周知，参加のお願いがあった。

議事4. 平成31年度日本農学賞受賞候補者の推薦および（一社）日本農学会総会について

齋藤庶務担当常任委員から平成31年度日本農学賞受賞候補者の推薦の推薦用紙についての説明と推薦のお願いがあった。また，総会は平成31年2月9日（土）に決定の報告があった。

また，例年行っている学協会調査票の記入について説明があった。一般社団法人になり，定款に沿って進めていくことになり，評議員という役員の設置はなくなった。総会・選考会出席者は代表者とし，1000名以上の学協会は選考会にはもう1名が出席できるが，その出席者も各学協会の役員とすることになった旨説明があった。

出席できない場合は委任状での対応となる。調査票についてわかりにくいとの指摘があった。今後調査票をお願いするときに十分な説明をしていくことで了承された。

議事5. 平成31年シンポジウムテーマについて

高橋企画担当常任よりタイトルは「農学とSDGs—持続可能な開発目標」，開催日は平成31年10月5日（土）に午前の理事会で決定した旨報告があった。演者については今後理事会で検討の上，関連学会へ演者の選出をお願いすることになった旨説明があった。

議事 6. 平成 31 年度常任委員担当学会について

齋藤庶務担当常任委員より、資料に基づき平成 31 年度は新たに、日本獣医学会、日本水産学会、日本農薬学会に常任委員を選出いただく旨説明があった。

議事 7. その他

・新規入会申込について

定款にそって所定の入会申込書を作成した旨報告があった。また、関連学協会に入会希望があれば周知の由お願いがあった。

・シンポジウム概要出版書が休刊となったので、日本農学会のホームページにてWEB公開することが報告された。公開はシンポジウム後6か月をめどとする旨説明があった。

・次回運営委員会 12月4日(火)15時～

平成 30 年度第 3 回日本農学会運営委員会議事録

日 時：平成 30 年 12 月 4 日 (金) 15 時より

場 所：東京大学 弥生講堂アネックス セイホクギャラリー

出席者：

西澤直子会長、大杉立副会長、渡部終五副会長、大山卓爾監事、與語靖洋監事、坂田好輝(園芸)、矢部和弘(シス農)、松下範久(樹木医)、中村英光(植調)、高橋輝昌(森立/芝草)、有村慎一(育種)、伏信進矢(応糖科)、野村昌史(応動昆)、太田能之(家禽)、青木直大(作物)、勝間 進(蚕糸)、春原由香里(雑草)、中川貴之(獣医)、玉井幸治(森林)、渡邊壯一(水産)、塩出大輔(木工)、安永円理子(生環)、大黒俊哉(造園)、野村こう(動遺育)、山内啓太郎(畜産)、染谷信孝(土微/植病(代))、小原廣幸(熱農)、酒井英光(気象)、北原克宣(農経)、浅見忠雄(農化(代))、乾 秀之(農薬)、杉浦幸二(繁殖)、中塚博子(ペドロ(代))、齋藤継之(木材)、青木謙治(木加工)、小口広太(有機(代))、荒木徹也(農施)、中村典裕(農情)、吉田修一郎(農村工)、落合 陽(木質)、柴崎茂光(林経) 黒住圭子(事務担当)

欠席者：

杉原たまえ(実農)、龍原 哲(森計)、矢沢勇樹(海水)、木村健一郎(国地開)、松村一善(砂丘)、石川尚人(草地)、大塚重人(土肥)、澤田 守(経営)、野口良造(農作)、渋谷往男(フード)、海津 裕(農食工)、橋本 禪(農計)

議長：西澤会長

進行：齋藤庶務担当常任委員

議事：

1. 平成 30 年度第 2 回日本農学会運営委員会議事録(案)

の承認について

2. 平成 30 年度事業報告(案)

3. 平成 30 年度収支決算報告(案)

4. 2019 年度事業計画(案)

(1) 2019 年度シンポジウム実施計画案

5. 2019 年度収支予算計画(案)

6. 日本農学会定款施行規則改訂について

7. シンポジウム講演要旨の公開について

8. 2019 年度社員総会および日本農学賞選考会について

9. 2019 年度会員(学協会代表者)・運営委員・常任委員について

10. 新規入会学協会について

11. 2019 年度日本農学賞受賞候補業績の推薦学会発表順

12. その他

配布資料

・平成 30 年度第 2 回日本農学会運営委員会議事録(案)

・平成 30 年度事業報告(案)

・平成 30 年度シンポジウムの報告/アンケート集計

・平成 30 年度収支決算報告(案)

・2019 年度事業計画(案)

・2019 年度シンポジウム実施計画案/2019 年度企画委員

・2019 年度収支予算計画(案)

・2019 年度日本農学会正会員数

・日本農学会定款施行規則改訂(案)

・2019 年度総会および日本農学賞選考会開催案内

・2019 年度総会出欠票・委任状

・2019 年度会員(各学協会代表者)・運営委員一覧表

・常任委員割当て表

・新規入会申込書

・2019 年度日本農学賞受賞候補業績の推薦学会発表順

西澤会長挨拶：

議事 1. 平成 30 年度第 2 回日本農学会運営委員会議事録(案)の承認について

齋藤庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり了承された。

議事 2. 平成 30 年度事業報告(案)

齋藤庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり了承された。シンポジウムについては北原企画担当常任委員から報告があった。

議事 3. 平成 30 年度収支決算報告(案)

青木会計担当常任委員から収支計算書について予算案より増減の項目について説明があった。

議事 4. 2019 年度事業計画(案)

齋藤庶務担当常任委員より資料に基づき説明があった。

日本農学大会は山上会館が耐震工事終了したので、来年度は山上会館で開催する旨報告があった。シンポジウム概要出版を休刊することになり、新たに養賢堂発行の「農業および園芸の1月号」にシンポジウム講演要旨を掲載することが理事会で決定したとの報告があった。

2019年度シンポジウムについては、高橋企画担当常任委員より理事会・企画委員会で決定された事項をふまえて説明があった。タイトルは「SDGsを超える農学のプレイクスルー」に決定された。講演者、講演タイトル、講演内容については7学会の依頼する旨報告があった。

来年度の運営委員会の開催日、第1回3月8日(金)、第2回9月2日(月)、第3回12月2日(月)が報告された。

議事 5. 2019年度収支予算計画(案)

青木会計担当常任委員から予算案に基づき説明があった。シンポジウム概要出版書が休刊になったので、収支がほぼ同じとなる予算案となった旨報告があった。

議事 6. 日本農学会定款施行規則改訂について

齋藤庶務担当から日本農学会定款施行規則(改訂案)について、改訂部分について説明があった。

議事 7. シンポジウム講演要旨の公開について

齋藤庶務担当常任委員より改めて口頭にて、「農業および園芸の1月号」掲載、日本農学会ホームページで公開するとの報告があった。

議事 8. 2019年度社員総会および日本農学賞選考会について

齋藤庶務担当常任委員より資料に基づき、総会と選考会の議事や進行について説明があった。選考会が30分早まっている旨説明があった。

議事 9. 2019年度会員(学協会代表者)・運営委員・常任委員について

2019年度常任委員は30年度から、高橋輝昌(日本芝草学会)、塩出大輔(日本水産工学会)、安永円理子(日本生物環境工学会)、2019年度から中川貴之(日本獣医学会)、渡邊壮一(日本水産学会)、乾秀之(日本農薬学会)、の合計6名となる。

議事 10. 新規入会学協会について

地域農林経済学会、生態工学会の2学協会から入会申込があり、理事会で入会の要件が満たされている旨報告があった。

議事 11. 2019年度日本農学賞受賞候補業績の推薦学会発表順

16学会から推薦があり50音順に抽選を行い、下記の通り確定した。

1. (公社)日本水産学会, 2. (一社)園芸学会, 3. 日本フードシステム学会, 4. (一社)日本木材学会, 5. 日本生物環境工学会, 6. (一社)日本蚕糸学会, 7. (公社)農業農村工学会, 8. (公社)日本獣医学会, 9. (公社)日本農芸化学会, 10. (一社)日本土壌肥料学会, 11. 日本作物学会, 12. 日本農業気象学会, 13. 日本海水学会, 14. 日本有機農業学会, 15. (公社)日本繁殖生物学会 / (公社)日本畜産学会, 16. 日本農薬学会.

議事 12. その他

- ・齋藤庶務担当常任委員から午前の理事会で公益法人化の検討に入るようになった旨報告があった。
- ・次回運営委員会 2019年3月8日(金)15時～